



第383号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



寂かに聴く



カット：本多紘子

師走を迎え、何かと気ぜわしい季節となりました。木々もすっきり裸になり、寒風に身を震わせているようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。インフルエンザの流行や新型コロナウイルスの第六波の感染流行の予防対策をしながら、歳末商戦に出かけたいものです。

昨年から今年に懸けての約二年間、11月14日までに世界中で新型コロナウイルスによる感染者数は2億5262万人で、死者数は509万人となつています。早急に開発されたコロナワクチンの接種で感染流行も治まると期待しましたが、先進国でワクチン接種を拒否する人や後進国でワクチンの供給がなくて接種が遅れている地域の人々から、新型コロナウイルスの強烈な変異株が流行し油断できませんね。コロナが治まり、人の交流が早く回復しないと経済的に困窮する人が増え心配です。

女性皇族の中心的存在だった秋篠宮家の長女真子(30)さまが、10月26日に大学時代の同級生小室圭(30)さんと結婚。皇族を離れられ一般人となり、11月14日に羽田空港からニューヨークに向かいアメリカで生活をされることになりました。婚約後に小室さんの母親の金銭問題が週刊誌で取り上げられ物議を醸しましたが、真子さまは自分の意思を貫かれ見事でした。自分の人生を大切になさって下さい。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

新しい女性の生き方を求め描いた小説で人気を集めた、作家で僧侶の瀬戸内寂聴さんが11月9日に満99歳で心不全のため京都市内の病院で死去され驚きました。誰にも頼らず、生きたいように生きた寂聴さんですが、7年前に背骨の圧迫骨折や癌で約1年間療養されたときは駄目かと思われたのに、不死鳥のように元気になられたからです。

寂聴さんは、徳島市で生まれ、東京女子大在学中の1943年に結婚、卒業後に夫の勤務先である北京に渡り、敗戦で1946年に帰国します。日本で夫のかつての教え子と恋に落ち、幼い一人娘を残して家を出ました。離婚を機に小説を書き始め、本名の瀬戸内晴美の名前で発表した『女子大生・曲愛玲』が新潮社同人雑誌賞を受賞し、また2人の男性の間で揺れる女性の心理を描いた私小説的作品『夏の終わり』で女流文学賞を受賞して、小説家としての地位を確立。以後は自我に目覚めた現代女性の生と性を見つめた長編小説を次々と発表します。そんな中で『花芯』という小説が「ポルノ」だと批判され、5年も文学賞を干されたときは、悔しさをバネに頑張り続けました。

51歳だった1973年、岩手県平泉の中等寺で得度し、法名の寂聴を名乗ります。余りに突然の出家だったので、男断ちが出来たのかと騒がしく報道されたことを愚僧は記憶しています。翌年、京都・嵯峨野に寂庵を開き、晩年まで法話を続け多くの人を魅了しました。自らの不貞を隠さず、「恋は雷に打たれるようなもの」「生きるとは愛すること。愛することは許すこと」と言い、不倫や離婚で悩む若い女性にも生きる勇気を与えたのは、寂聴さんらしいですね。

寂聴さんは、天台宗を開いた最澄さんの「一隅を照らす」という文言と「悪事を己に向かえ、好事を他に与え、己を忘れて、他を利用するは慈悲の極みなり」という文言を大切にしました。それは、幼い娘を捨てた自分は、人を慈しむ責任があるからと…。また、反戦・平和を訴える活動にも積極的に参加したり、心の痛みや孤独を抱える人に常に寄り添い、命を燃やし尽くされ旅立ちました。合掌(奥原 曇龍)

『忘己利他 己忘れて他を利用する 仏の道を歩んだ寂聴』 どんりゆう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・十二月 七日「火曜日」 午後一時半から四時まで。

『歎異抄(たんにしょう)に学ぶ』

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様が成道後5、6年の40歳頃、故国である釈迦族のカピラ城を訪問しますが、父王の浄飯王をはじめとして一族の者は、お釈迦様に対して傲慢であり失礼であった。

お釈迦様は父王や一族の者達に、種々の神通奇蹟を現すことよって心服させ、布施・戒律・生天の話を始めとして、種々の説法をされたので、彼らの中には第一段の聖者になった者が多く、礼拝する者が増えました。

後に釈迦国の王となった従弟のマハーナーマは、しばしばお釈迦様の説法を聞き、ついに仏教信者になったのだが、彼は始めはジャイナ教徒であった。ジャイナ教は、教祖マハーヴィーラの出身地ワツジ国のヴェーサーリーを中心として栄え、南はマガダ国に、北はマツラー国から釈迦国にも伝わったらしく、ジャイナ教の三大信者の一人とされる釈迦族のワツパは、お釈迦様の説法によって篤く仏教に帰依するようになりました。

お釈迦様がコーサラ国のサーヴッティ(舎衛城)におられた時、夏に旱天が続いて、釈迦国と東隣のコーリヤ国との間に流れているローヒニー河の水が枯れ、灌漑用水のことに、まさに血の雨を降らせようとしていた。そのとき、お釈迦様がそこにやって来て、両族の主だった人々を集め、争いが双方に対して不利不幸を招くことを、いろいろの譬喩でわかりやすく説明し話されたので、彼らの心も和らぎ、事無きを得ました。

そしてお釈迦様への尊敬と感謝から、両族合わせて五百人の子弟が出家し比丘(僧侶)になったと伝に書かれています。

お釈迦様の覚りは、「人間とは何か、人間らしく生きるとはどういう生き方」かを深く見つめ、悩みや苦しみ、悲しみや喜びを、みんなと分かち合えるような世界を目指したと愚僧は受け止めています。合掌(奥原曇龍)

人の世は出会いと別れで暮れてゆく

鐘の音響くともしびの寺

田辺多恵子



10月11日 心光寺本堂にてともしび説法

ともしび法話

あわただしい年の瀬となりました。新型コロナウイルス感染症の第六波の心配もありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

お寺の方も秋の法要が無事に終わり、年末や新春の準備に取りかかっています。皆様、お寺の行事に気軽にご参加下さい。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

11月3日、心光寺恒例の秋の法要もコロナ禍の心配の中で無事に終わり、嬉しく思いました。人と人が出逢い、人生を真剣に楽しく語り合える場として、これからも心の雨宿りの寺となり、頑張ってください。

倉敷市中庄 山下須磨子

【除夜の鐘】のお知らせ

十二月三十一日大晦日の午後二時半より法要後の三時から四時まで鐘を撞きます。深夜の「除夜の鐘」ではなく、夕方に鐘を撞くのは平成三十年から四回目です。心光寺の檀家以外の人も、駐車場が広いので、気軽に参拝し鐘をならして下さい。

ともしび説法

日時・十二月 七日「火曜日」 午後一時半から四時まで。

『歎異抄(たんにしよう)に学ぶ』

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて

電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

一月 一日(水)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

二月 八日(火)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

三月 九日(水)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成24、26年、平成27、29年、平成30、令和2年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れますよ。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。



いころの詩

今年も師走が来たよ
寒さにふるえながら考える
思慮深く生きたいと願いながら
すべて悪戦苦闘で恥の上塗り
せつかくの一度きりの人生
損得なしに 今から ここから
心のともしび 届けていこう



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。

倉敷市 松下勇一様 5千円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「383号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦